

ご挨拶

このたび、第4回日本手術看護学会近畿地区学会を開催させていただくことになり心よりお礼申し上げます。

2017年6月24日(土)、神戸国際会議場において開催を予定し準備を行っています。

今回のテーマを「周術期管理とチーム医療 手術室看護師の役割拡大」としました。団塊の世代が75歳以上となる2025年には、世界に例のない超高齢多死社会を迎え、生活習慣病であるがん・心疾患・脳卒中などの慢性疾患や認知症を抱える高齢者が増加していきます。手術患者についても合併症を持つ患者が増加し、その合併症も複雑化・長期化しています。また、近年手術医療は、低侵襲手術、ハイブリッド、IT化などめまぐるしい進化を遂げています。

患者の権利を擁護し、安全な手術を提供するためには、手術室看護師のみならず他職種との連携が今後重要となります。手術前では、術前外来における患者アセスメントや患者指導など、手術看護の専門性の向上と成果指標となる質の評価も大きく求められています。また、手術中においても、手術室看護師は安全な手術を提供する為に、医師、薬剤師、臨床工学技士など、多職種による手術医療チームを調整する中心的な役割を担います。

是非、皆さまと一緒に、多職種との連携において中心的な役割を果たす手術室看護師の役割拡大をどのように行い、手術看護の専門性をどのように高めていけるか議論する場にしたいと考えます。

神戸の地でお待ちしております。

第4回 日本手術看護学会 近畿地区学会
大会長 渋谷 豊克